

その他の野菜の需給・価格動向について

(きゅうり、さといも、トマト、なす、ねぎ、ばれいしょ、ピーマン、ほうれんそう)

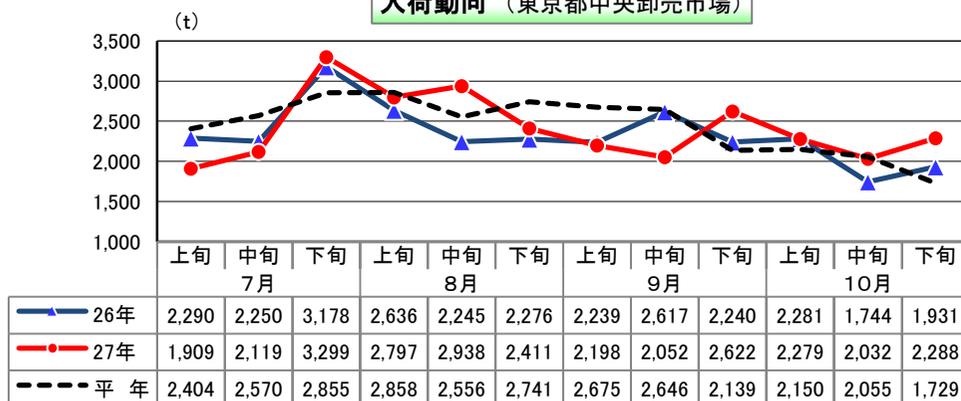
資料：東京青果物情報センター「東京都中央卸売市場における青果物の産地別入荷数量と価格」

注：平年とは、過去5か年（平成22～26年）の旬別価格の平均値である

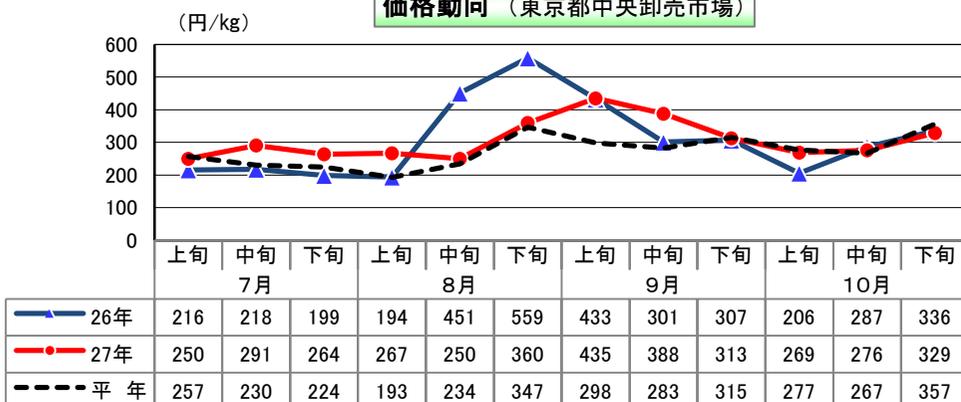
【きゅうり】（主な産地：福島、岩手、埼玉、群馬）

- 入荷量は、7月は、岩手産が雹害で品質低下して前年を下回ったものの、福島産が生育も回復し、7月以降増加した。8月は曇雨天で少なかった前年を大幅に上回った。9月に入り、東北産が日照不足と低温で減少し前年を下回った。9月下旬以降は、関東産が本格出荷となり前年を上回った。
- 価格は、期間を通して東北産が降雨や日照不足で入荷量が大きく減少し、平年の2倍以上に急騰した8月中下旬を除いて、前年並みか前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



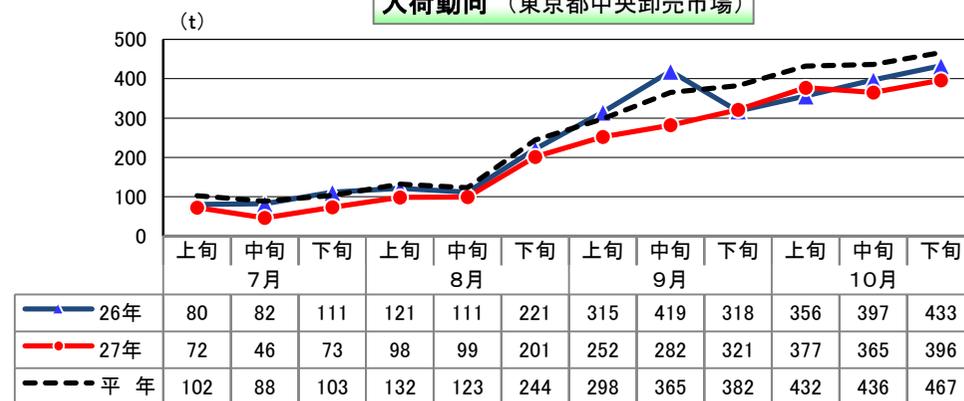
価格動向（東京都中央卸売市場）



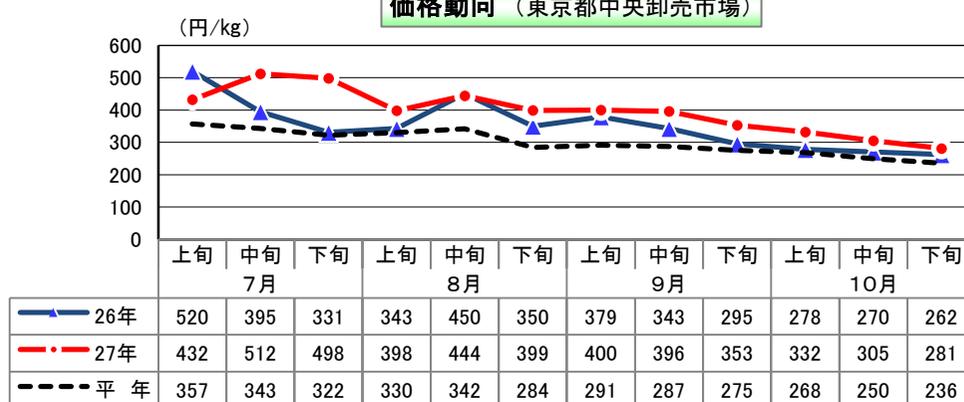
【さといも】（主な産地：千葉、宮崎）

- 入荷量は、7月は九州産が干ばつや日照不足から前年を下回り、8月以降千葉産も4月下旬から5月中旬にかけての日照不足、干ばつ、8月下旬から9月中旬までの曇雨天、低温で前年を下回った。宮崎産も生育期の曇雨天で小玉傾向となり前年を下回った。その結果、期間を通して平年を下回って推移した。
- 価格は、旬を追うごとに下げ基調となっているものの、期間を通して平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



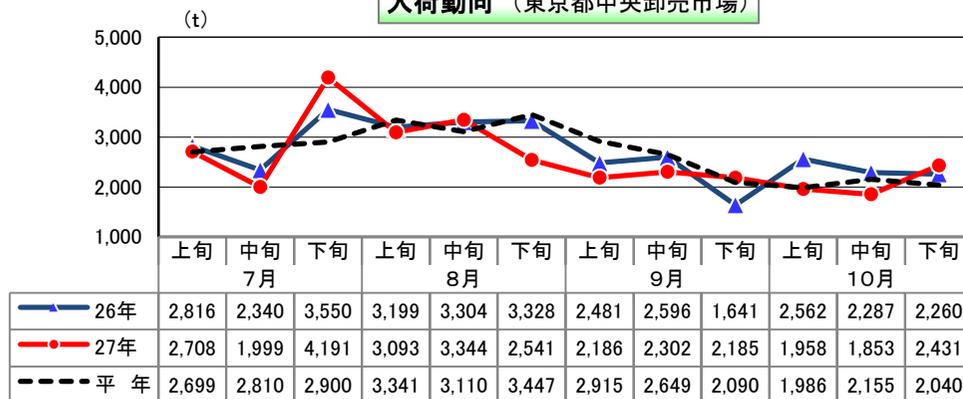
価格動向（東京都中央卸売市場）



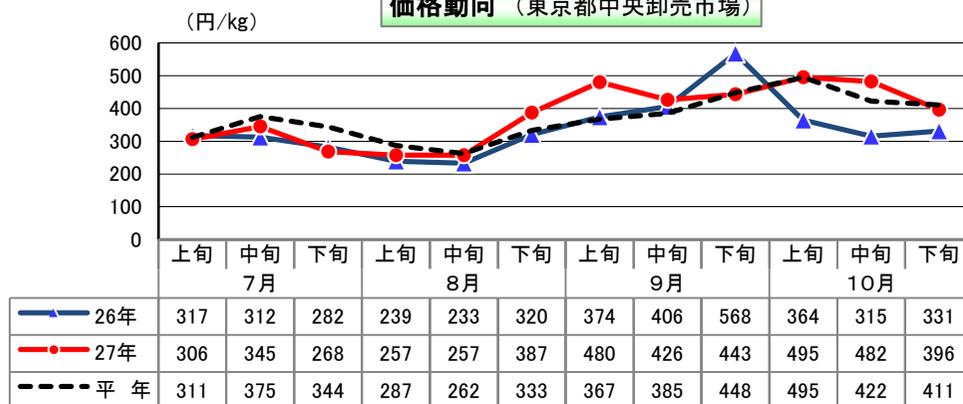
【トマト】（主な産地：青森、千葉、福島、茨城）

- 入荷量は、7月中旬まで東北・北海道産は干ばつ、日照不足で少なく、前年を下回るも、7月下旬以降は好天により生育が促進されて増加した。8月下旬になると8月上中旬の高温で花落ちや8月下旬から9月中旬までの曇雨天で生育が停滞して、9月下旬を除いて前年を下回った。10月下旬は天候が回復して前年を上回った。
- 価格は、8月中旬までは入荷も比較的順調であったことから平年を下回った。8月下旬以降は天候不順で入荷量が伸びず、9月下旬を除いて前年及び平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



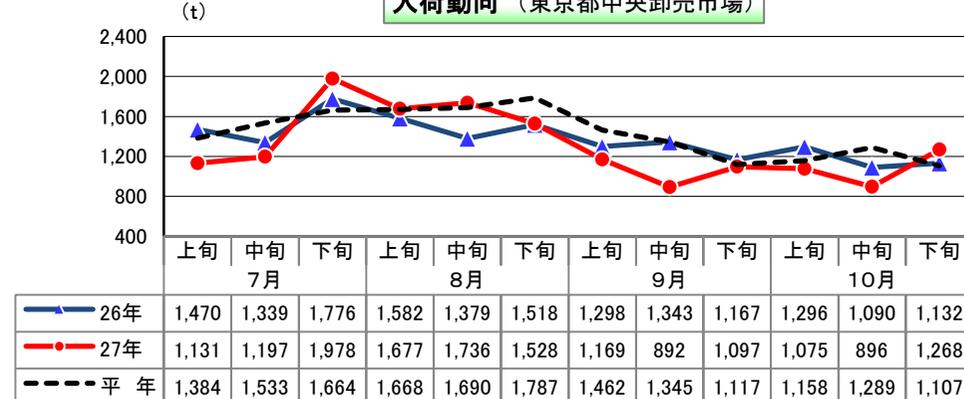
価格動向（東京都中央卸売市場）



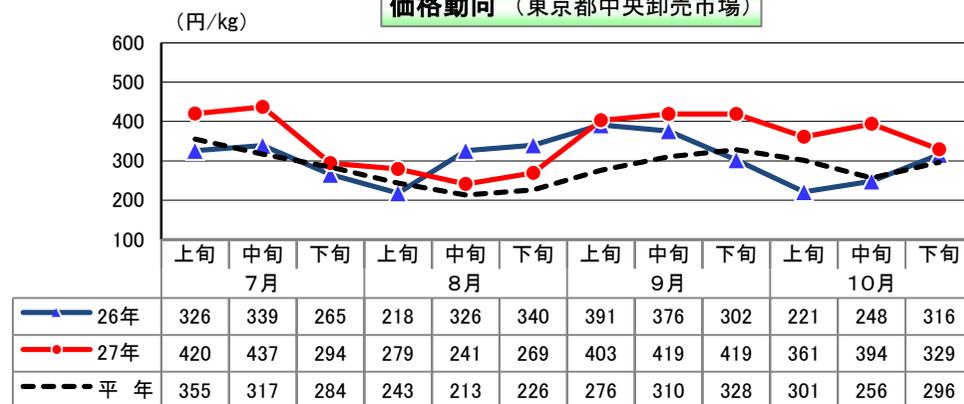
【なす】（主な産地：栃木、群馬、茨城）

- 入荷量は、7月中旬まで群馬産、栃木産は日照不足で少なく、前年を下回るも7月下旬以降は好天により生育が促進され増加した。9月以降は、8月下旬から9月中旬までの曇雨天、10月の低温により生育が遅延したことから、前年及び平年を下回った。10月下旬は生育も回付まして前年及び平年を上回った。
- 価格は、7月中旬までは入荷が少なく高値となるも7月下旬以降は入荷も順調で、8月までは下げ基調となった。9月以降は、天候不順の影響で入荷が減少して再び高値となり、前年及び平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



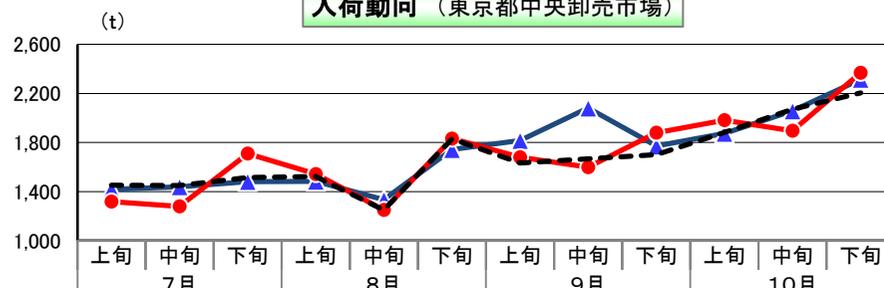
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ねぎ】（主な産地：茨城、青森、北海道、秋田）

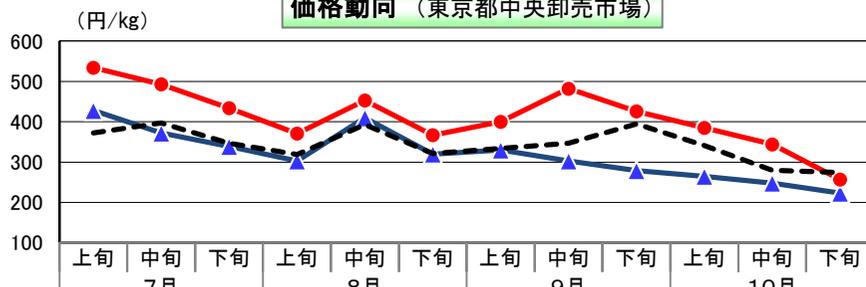
- 入荷量は、8月までは茨城産及び千葉産が7月上旬の長雨による収穫遅れや病気の発生もあり平年並みか平年を下回る旬が多かった。9月は、青森産は8月の上中旬の高温、それ後の曇雨天で少なくなり、前年を下回った。10月は、稲刈り作業と重なってほぼ前年並みとなった。
- 価格は、7月以降下げ基調となるものの、期間を通して前年及び平年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬									
26年	1,418	1,439	1,482	1,484	1,333	1,742	1,816	2,080	1,771	1,874	2,057	2,314
27年	1,319	1,280	1,710	1,543	1,251	1,832	1,680	1,599	1,880	1,982	1,896	2,368
平年	1,451	1,449	1,516	1,523	1,249	1,829	1,632	1,667	1,702	1,881	2,070	2,205

価格動向（東京都中央卸売市場）

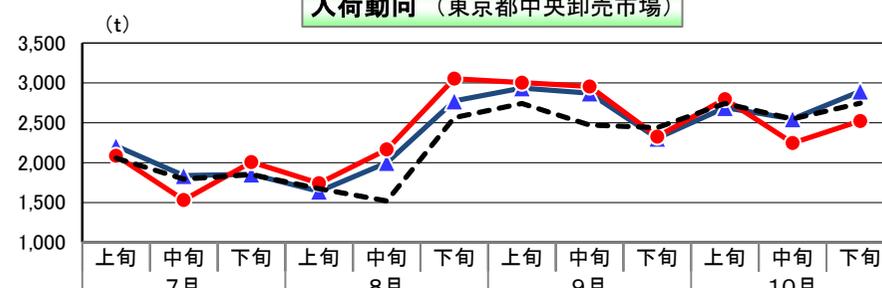


	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬									
26年	428	372	339	303	410	320	330	303	279	265	248	223
27年	534	493	434	371	453	367	400	482	426	385	344	257
平年	372	397	347	319	393	321	334	347	395	341	280	274

【ばれいしょ】（主な産地：北海道、茨城）

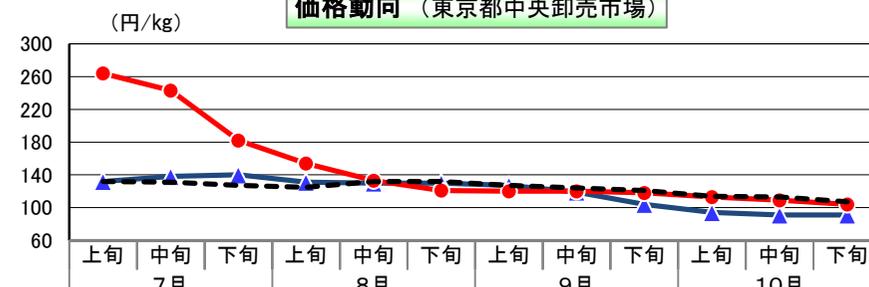
- 入荷量は、7月は茨城産が干ばつで小玉傾向、静岡産が3月から4月の天候不順で小玉傾向となり、前年を下回った。8月に入り北海道産が本格出荷を迎え、天候に恵まれて生育も順調であったことから、10月上旬までは前年を上回って推移した。
- 価格は、九州産が生育の干ばつ、日照不足で小玉傾向となり、高値が続いていたため、7月に入り日を追うごとに値を下げたが、前年を上回った。8月以降は、北海道産が順調に入荷したことから、平年並みで推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬									
26年	2,208	1,836	1,855	1,641	2,000	2,772	2,936	2,872	2,304	2,689	2,548	2,896
27年	2,086	1,531	2,007	1,742	2,166	3,054	3,003	2,955	2,326	2,796	2,246	2,522
平年	2,056	1,793	1,851	1,672	1,517	2,565	2,742	2,471	2,437	2,743	2,546	2,744

価格動向（東京都中央卸売市場）

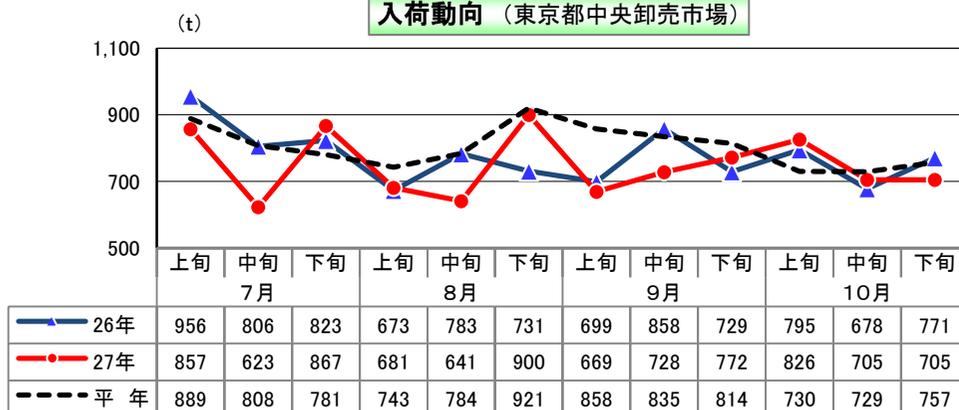


	7月			8月			9月			10月		
	上旬	中旬	下旬									
26年	132	138	140	131	130	130	127	119	104	94	91	91
27年	264	243	182	154	133	121	120	120	118	113	109	104
平年	132	131	127	125	132	132	127	124	121	114	113	107

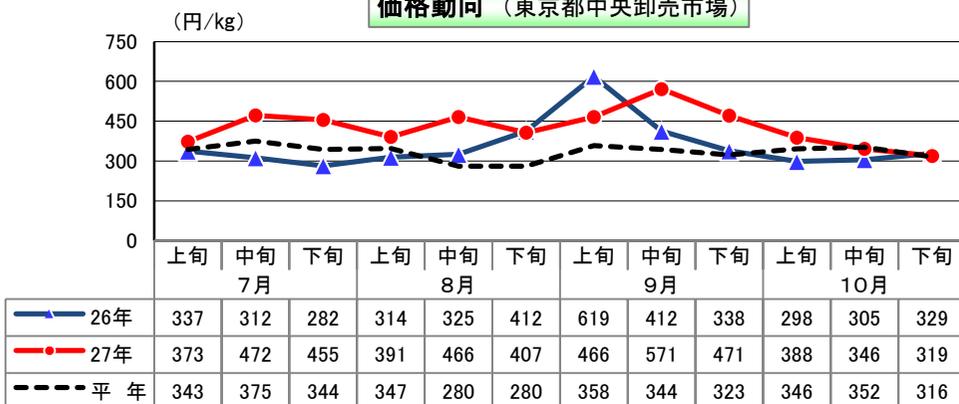
【ピーマン】（主な産地：茨城、岩手、福島）

- 入荷量は、岩手産は干ばつ、8月上中旬の高温、その後の曇雨天で、茨城産は7月の曇雨天、8月上中旬の高温、その後の曇天により着果不良となるなど、入荷が伸びず、期間を通して概ね前年及び平年を下回って推移した。
- 価格は、主産地の入荷量が伸びずに、期間を通して9月上旬及び10月下旬を除いて前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



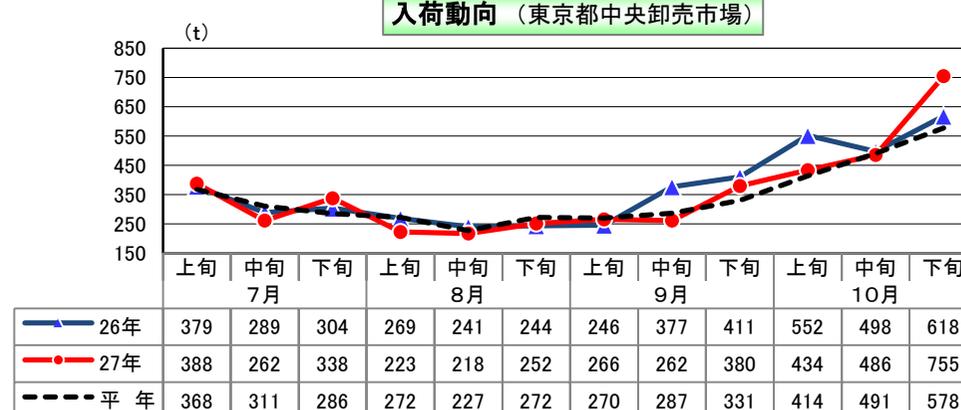
価格動向（東京都中央卸売市場）



【ほうれんそう】（主な産地：群馬、栃木、茨城）

- 入荷量は、8月までは茨城産は概ね順調であったが、群馬産及び栃木産は、7月の曇天、8月から9月にかけての曇雨天により生育が停滞したことから前年を下回った。この結果、期間を通して前年を下回る旬が多かったものの、生育が回復した10月下旬を除いてほぼ平年並みに推移した。
- 価格は、9月中旬までは上げ基調で推移したが、9月下旬以降は好天により主産地の入荷が安定したことから、下げ基調となった。期間を通して長雨で高かった8月下旬、9月上旬及び入荷量が伸びた10月下旬を除いて、前年を上回って推移した。

入荷動向（東京都中央卸売市場）



価格動向（東京都中央卸売市場）

